

トーク形式で縦横に語る

市田さん&清水さん

市田忠義党副委員長・参院議員と清水忠史前衆院議員が掛け合いで日本共産党の政策・理念・歴史を語る「トークライブ」が23日、大阪市内で開かれ、「またやって」など好評でした。

「野党共闘はどうなるのか」と清水さんが聞くと「どうなるかでなく、どうするかだ」と市田さん。「北朝鮮のことを清水さんはどう話しているの?」「未来社会論をどう語るか」など掛け合いで進み、「共闘をしながらどう比例を伸ばすか」や安保、米軍基地、憲法、消費税、財源論などを縦横に語りあいました。

会場からは「働くことが喜びになる社会になって欲しい」「共産党の文化政策をもっと聞かせて欲しい」「大企業に応能負担をという、大企業が逃げていくという意見があるが」などの質問が出され、丁寧に答えました。最後に市田さんが熱く入党を訴え、会場で60代の男性が入党しました。



穀田さん、市民運動家・守田さん

野党共闘を語る

「市民と野党の共闘を京都でさらに広げよう」と京都1区後援会のシンポが23日開かれ、穀田恵二党国会対策委員長・衆院議員と市民運動家・フリーライターの守田敏也さんパネリストを務めました。「共闘はどこまで来ているか」について穀田さんは「共闘が始まってわずか2年余。誰がこの劇的変化を予想したでしょう」と切り出し、野党共闘分断工作の中心問題が安保法制と憲法9条改憲への態度であり、これとたたかい、乗り越えたのが総選挙だったと強調。「10年、20年たたかひの土台をすえた」とのべました。

守田氏は「共産党が候補者を降ろすという大英断がなければ立憲民主の側は大惨敗だったろう」「市民と野党の共闘の中で共産党への信頼は確実に高まっている」とした上で「比例で勝つことの意味をもっと市民に理解してもらう努力を」など、共産党への意見を述べました。会場からも活発に意見が出されました。

宮本衆院議員・秘書 2 ラウンド行動、日刊紙 3 人日曜版 8 人増やす

宮本岳志衆院議員と秘書3人が24日、大阪・八尾柏原地区で午前・午後の2ラウンド行動し日刊紙2人、日曜版読者7人を拡大。これとは別に1人の秘書が日刊紙を拡大しました。国会議員団事務局で党勢拡大の飛躍をと意思統一したのに基づき、用務で近畿入りするのを機に集中行動を行ったものです。

宮本、清水、堀内さん兵庫県議団と懇談 2月に政府交渉へ



宮本衆院議員、清水、堀内両前衆院議員は26日、党兵庫県議団(5人)と懇談。総選挙結果を語り合うとともに、いっせい地方選、参院選を展望しどう県民要求を実現するかを話し合いました。県議団はこの懇談に基づき2月に政府交渉を行うことにしています。

近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 58(2017.12. 26)